

# アール・ブリュット！



愛知教育大学  
附属特別支援学校

校長 磯部 洋司 氏

「アール・ブリュット」(Art Brut)はフランス語で生の芸術の意味で、既存の芸術様式にとらわれない、美術の専門教育を受けていない人が自発的に生み出した作風を指します。この会場で、春に上野の森美術館で見た「木梨憲武×20Years」展を思い返していました。タレントの余芸だからと期待もせずに行った展覧会でしたが、なかなかどうして、見ごたえがありました。上手い下手を言えれば微妙です。しかし自由奔放でカラフル。ジミー大西に並ぶ逸材でした。

## 教育随想



平成26年12月1日

# 12月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想	1
愛知教育大学 附属特別支援学校校長 磯部 洋司氏	
この人に聞く	2
有限会社三浦園芸 代表取締役 三浦 基彰氏	
羅針盤	2
矢作南小 校長 山口 和雄	
ふれあい	3
矢作北小 井土民記臣	
特集	4
地域と人をつなぐまちづくり ～地域交流センターの活動～	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
ドッジボール大会 (昭和元年)	
この本を	8

そして木梨さんが(大西さんも)、専門教育を受けていないからこそ創り得る美の世界だと実感しました。

私自身は絵を専門的に勉強した部類の人間ですが、絵を描く場合、まず構図を考え、透視図法・遠近法に従い、色の調和を意識しつつ、常に画面全体を見比べながら描き進めようとしてしまえます。なかなか、これを破ることができません。

こうした作画上の約束事に捉われない作品には、別種の魅力が溢れています。そうして、昔でしたら門前払いだった素人の絵のよさが認められるようになってきたのです。

ところで、「アール・ブリュット」は「ボードレス・アート」とも呼ばれ、一般的には、知的障がい・精神

障がいをもつ人の芸術を指すことが多いようです。今、たくさん障がい者がアール・ブリュットを生み出しています。

アール・ブリュットの作家はもちろん人にもよりますが、遠近法や構図などはあまり気にせず、内面から湧き出る衝動のままに、描きたいものをドンと描く、あるいは描きたいことを丹念に描き並べていくようで、個々のこだわりの集積が、作品として昇華したように思われます。とにかく斬新で、強く、無類の存在感で、見るものに迫ってきます。

アール・ブリュットの作家が目の前にいませんか。見つけて、認めてあげたいですね。

(いそべ ようじ)





## 新たな一歩への挑戦

有限会社三浦園芸 代表取締役  
三浦 基彰 氏

「ヨーロッパで確立された『ハイドロカルチャー（水耕栽培）』を日本に初めて導入したのは、私の父なのです。ハイドロカルチャーは、土を使わずに焼いた粒状の粘土（ハイドロコーン）を使います。虫が湧かず衛生的で、保水力に優れているので、今では室内用の観葉植物として親しまれています。現在、全国にホームセンターが七〇〇〇店ほどあるのですが、額田地区からの出荷がそのうちの半分ほどにもなっています。」

昭和五十五年、オランダ視察で目にした新しい技術を日本に持ち込み、手探りで栽培施設を築いていった父。その背中を見て育った基彰さんも、ゆくゆくはこの仕事に就きたいと考えるようになった。

「大学卒業後、単身でシンガポールに渡り、栽培の仕方や植え付けの技術

を学びました。帰国した頃は、ちょうどバブル全盛期で、今までの栽培面積だけでは手狭になってきたので、徐々に農場を広げていきました。」

そんな折、「リーマンショック」を発端とした経済危機のあおりを受けて、注文数が急激に落ち込んだ。「出荷数を安定させるために、フィリピンの農家に生産を頼んでいたのですが、その荷が過剰になってしまいました。苦肉の策で、現地で販売することを思い立ち、マニラ市内の百貨店に五店舗を構えました。」

ところが、現地の店が予想外の成果を上げたのである。

「日本では一日数十鉢売ればよいところを、多いときで二五〇鉢も売れたのです。おしゃれな器に入れて販売した商品を、富裕層の方が贈答用として大量に購入してくれました。」

この成功の影には、現地の多くの人の助けがあったという。

「現地のハンディクラフト業者が、百貨店に口添えしてくださったおかげです。現地でランプシェードとして販売していた商品を、鉢カバーにアレンジして、うちに納めていた会社でした。植物を栽培する農家だけでなく、地域全体が活性化するといったと思つて取り組んできたことが、いつの間にか大きなつながりを築いていました。」

人との縁が、新しい一歩を踏み出すチャンスをもたらしたのは、これだけではない。

「消費者から、『ハイドロコーンにもっと明るい色があるといいですね』という声をいただきました。ちょう

ど輸入に頼るしかなかった園芸用土を、国内で開発できないかと模索し始めた時期でした。」

その頃、三州瓦を扱う業者から、粉碎した瓦の粉を使って色付きの園芸用土を開発する話が持ち上がった。

「園芸用土には保水力が必要ですが、瓦の用途はその逆です。水を防ぐために高温で焼き締めています。その粉をどう使えばよいのか悩んでいるとき、大学の先生から、焼かずに固めて保水力を保つ方法をアドバイスしていただき、開発に挑戦することを決めました。」

今までにはない明るい発色が特徴の園芸用土「カワラカルチャー」が誕生した。そして、二〇一〇年、経済産業省が推進する地域資源の認定を受けることとなった。

「メイド・イン・アイチ」の「カワラカルチャー」に、今では海外からの問い合わせも来ている。現状に甘んじずオリジナリティーを追求する情熱は、今後もハイドロカルチャーの新しい未来を切り開いていくであろう。



氏名 みうら もとあき  
生年月日 昭和四十三年十二月二十八日  
住所 岡崎市牧平町

# 羅針盤

## 三つの「合う」

矢作南小 校長

山口 和雄

今から二十年程前、国際化していく社会では、人々が「つきあう」ために三つの「合う」が重要であると、私は論文に書いたことがある。

国際社会ではまずお互いを理解し、「知り合う」ことが必要である。ところが、実際に一緒に生活しているところとすると、多くの課題が出てくる。たとえ文化や習慣が違っていても、自国の文化を正しく理解し、相手の異文化を認め、お互いの存在を「認め合う」ことが求められてくるのである。認め合う関係が成立すると、人々が相互に依存していることを知り、お互いに「支え合う」ことが不可欠になる。この三つの「合う」は、国際理解に限らず、人間関係の基本でもあると、私は今でも考えている。

今回、中学生七名と一緒に親善使節





## 伝統づくりの礎

矢作北小 井土民記臣

新任として赴任した三年前、四年生しかないサッカー部の顧問を任された。サッカーを経験したことのない私は、子供たちの人間的な成長を願って練習内容に試行錯誤を繰り返す日々を続けていた。そんなある日の練習で、主将でもあるA男が、苛立ちを隠しきれず、仲間に向かってこう言い放った。

「マジで下手。」

A男は、クラブチームに所属していることもあり、技能はひときわ優れている。しかし、他の部員たちはサッカーの経験が乏しく、五メートルほどのパスでさえ思うようにコントロールできない。この状況から、A男は徐々に不満を募らせていった。

一年が経ち、A男の自己中心的なプレーが目立つようになり、サッカーの得点とは思えないほどの大差で負

ける試合が幾度となくあった。その度に、「チームプレーを無視した動きに仲間が萎縮している。苛立ってプレーをしても、チームは何も変わっていかない」と、注意することが多くなっていた。A男は、こうした私の指導に対して、素直に耳を貸さないようなこともあった。

そうしたある日、公式戦で負けても他人事のように振る舞い、悔し涙の一つも流さないA男の姿を見た。そのとき、「A男の姿を見て後輩は育つ。後輩たちの動きは、自分たちの姿を映す鏡だということをいつも心がけてほしい」と諭した。A男のプレーや言動が、チーム力向上にとって、いかに大切かを気づかせたかった。

チームには、パスに素早く反応し、攻撃に結びつけることがうまくできないB男がいた。ある日の練習で、B男に動き方を教えてほしいとA男に伝えた。そのとき、次の言葉を添えた。「B男は、A男からのパスを受けてシュートにつなげたい、そして、試合に勝ちたいという強い思いをもっている」と。その日を境にA男の表情に少しずつ変化が見られ、言動が明るくなっていた。加えて、練習のやり方のこつがつかめない仲間に手本を見せる姿や、励ましの声をかける姿が見られるようになった。

六年生となり、公式戦の一つ、市民サッカー大会に参加した。迎えた一回

戦、初勝利を収めることができ、子供たちは飛び上がって喜んでいった。その試合は、ドリブルで中央突破したA男から、コーナーに走り込むB男にパスが出てゴールが決まるという、理想的なゲーム展開だった。

最後の夏の球技大会。良い結果を残すことはできなかったが、六年生はチームが丸となって戦う意気込みを後輩に伝えることができた。そして、チームの要だという自覚をもったA男の成長した姿に頼もしさを感じるとともに、このA男の存在が、サッカー部の伝統づくりの礎となつたと確信した。



団としてニューポート・ビーチ市を訪問する機会を得た。いろいろな出会いがあり、あらためて三つの「合う」について考える機会となった。

この訪問では、二人の女性にお会いしたことが特に印象に残った。一人はコニーさんという、上品で世話好きな女性である。彼女の案内で市内のいろいろな施設を回ることができた。市立図書館では岡崎から送られた兜などが展示されていた。

もう一人の女性は、三十年前に姉妹都市提携が行われた当時の市長、エベリンさんである。この春には提携三十年周年の記念として来日する予定であったが、高齢のためかなわなかったそうである。私たちがお会いした日は、若々しい真っ赤なシャツを着て、素敵な笑顔で歓迎してくださった。

このお二人を始め、ニューポート・ビーチ市の人々との交流は、「知り合う」こと、「認め合う」ことを実現する貴重な体験となった。それでは今回、「支え合う」ことはできなかったのだろうか。こうしたニューポート・ビーチ市との交流が三十二回も続いてきたことこそ、両市の支え合いの賜物ではないだろうか。人と人との支え合いの上に、今回の訪問が成立したのだと私は考えている。

# 地域と人をつなぐまちづくり

## ~地域交流センターの活動~

岡崎市には四つの地域交流センターがある。全てのセンターに子育て相談・支援が受けられるプレイルームや、講習会や研修を行える活動室がある。そこで催されている空手道場・着付け教室・ヨガサークルなど、市民活動団体の活動を支援し、施設運営を行っている。また、毎月機関紙を発行し、各地域交流センターを利用して、各団体の活動や情報を公開したり、「まちびとバンク」という仕組みを通して、イベント・展覧会などのボランティアに対して人材紹介や地域の魅力を

▲ 親子夏祭り



▲ 花壇作りの花咲ボランティア



▲ なごみん (西蔵前町字季平45番地1)

### なごみん

(北部地域交流センター)

大勢のボランティアの支援を受け、子どもたちが自ら考え作り出す「なごみん横丁」を5日間に渡り催している。



▲ 手話講座



▲ 子どもたちがつくる仮想都市  
なごみん横丁の丁長選挙

### むらさきかん

(東部地域交流センター)

道の駅藤川宿、愛知産業大学、藤川小学校などと連携し、地域の特産品、むらさき麦を活用したまちおこしを支援している。



▲ 学び合い交流会

### むらさきかん



▲ むらさき麦まつり



▲ 藤川小児童によるまちの案内



▲ むらさきかん (藤川町字田中19番地)



### 岡崎まち育てセンター・りた 4つの事業方針

#### <学校融合ひとづくり>

地域の教育機関や専門性を有する団体、個人との協働を促進し、未来のまちづくりの担い手を育成する。

#### <学区まちづくり>

個々の活動やアイデアをまち全体の取り組みにつなげ、地域マネジメントの促進を目指す。

#### <公益活動の場づくり>

個々の活動をまちの課題、社会的課題の解決などと結びつけ、公益活動につなげる場や機会を提供する。

#### <ボランティアの受け皿づくり>

個人に対するボランティア活動を啓発し、市民活動・地域活動を促進するボランティアを結びつける。

と人々の活動を結びつけたりしている。さらに、自主防災組織の活性化と活動場所および災害時のサテライト拠点としての役割を備え、地域の防災訓練とセンター主催の防災イベントを同時開催するような連携も進めている。

地域交流センターを運営しているのは、指定管理者である「特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた」である。りたは、岡崎の歴史や文化から「まちを育てる」ということを意識し、市民活動・市民協働の促進を目指している。

地域交流センターに行けば、その地域の情報や活動、地区に必要なボランティア活動や市民活動の実践の場に出会うことができる。今後も、地域のニーズに合わせてシーズ（担い手）を結びつける「**社会の紐帯**（ちゆうたい）となるべく、多岐にわたった地域活動を支援する取組が続けられていく。



▲ やはぎかん（矢作町字尊所45番地1）



▲ 防災講座

**やはぎかん**  
(西部地域交流センター)

震災や水害の被害が心配される地域もある矢作地区は、定期的に防災の啓発に取り組んでいる。



▲ クリスマスコンサート



▲ 地域のイベントへの参加

**やはぎかん**

**よりなん**

地域交流センター  
六ツ美分館  
悠紀の里



▲ 防災フェア

**よりなん**  
(南部地域交流センター)

周辺の町内会や老人会との連携に力を入れており、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が多く利用している。



▲ よりなん（上地二丁目39番地1）



▲ 昔のあそび体験フェスタ



▲ 老人クラブ交流会



● 教育最新情報

◆ 第四十二回岡崎市教育文化賞

本年度は、個人十四件、団体三十件、合計四十四件の推薦・申請があった。選考委員による厳正な審査の結果、次のとおり、個人二件、団体二件が受賞した。

〈個人〉

小林 邦夫 氏

児童生徒並びに地域住民を対象にした永年にわたる教育・文化活動

弓立 まり 氏

障がい者と共生する優しい社会づくり活動

〈団体〉

岡崎市立東海中学校

地域の環境保護へと広がりをもせるカワバタモロコの保護活動

かたのササユリの里育成会

ササユリの保護育成による環境保護活動

◆ 授賞式 記念講演

今年度の教育文化賞授賞式

と記念講演は、十一月二十二日(土)に岡崎市総合学習センター大ホールで行われた。

授賞式後、京都大学霊長類研究所思考言語分野教授の松沢哲郎氏に、「想像するちからーチンパンジーが教えてくれた人間の心ー」と題して御講演いただいた。

講演は、四季の会・秋研修会を兼ね、多くの方々が、松沢氏のお話に聞き入った。

● 表彰

◆ 第67回全日本合唱コンクール全国大会

同声合唱の部 金賞

六ツ美北中

◆ 平成26年度日本学校合奏コンクール2014グラランドコンテスト(合奏)

銀賞 城北中

銅賞 福岡中

◆ 第20回日本管楽合奏コンテスト全国大会

中学校B部門 優秀賞

美川中学校

◆ 平成26年度CBCこども音楽コンクール中部決勝大会

○重奏部門

最優秀賞(全国審査へ)

優秀賞(第三位) 竜海中学校

優良賞(審査員特別賞) 福岡中学校

○合奏第一部門

優秀賞(第二位) 城北中学校

優秀賞(第三位) 福岡中学校

○管楽合奏部門

優秀賞(第三位) 北中学校

○小学校合唱部門

最優秀賞(全国審査へ) 根石小学校

優良賞 梅園小学校

○中学校合唱部門

優秀賞 六ツ美北中

◆ 平成26年度日本学校合奏コンクール2014ソロ&アンサンブルコンテスト全国大会

○ソロ部門

金賞 福岡中 半田 風

銀賞 六ツ美北中 村松夕芽

銅賞 福岡中 宮崎 優

○アンサンブル部門

金賞(文部科学大臣賞) 竜海中 木管三重奏

銀賞 北中 サックス四重奏

銅賞 北中クラリネット八重奏

銅賞 竜海中 フルート六重奏

◆ 第57回中部日本吹奏楽コンクール本大会

大編成の部 銅賞 竜海中

◆ 第58回日本学生科学賞(愛知県審査委員会)

最優秀賞・愛知県教育委員会賞

北中 庄子智乃

最優秀賞・名古屋科学館賞

六ツ美北中 大河内あづ紗

最優秀賞・名古屋科学館賞

城北中 鳥居壮多

優秀賞 竜海中 橋本裕太郎

◆ 第28回愛知県中学生英語弁論大会

雄弁賞 六ツ美北中 橋本ジュリア

常磐中 佐羽内亜海

◆ 第8回アジア国際子ども映画祭

大野市教育長賞(三位相当) 生平小 近藤 萌

杉田絢美

◆ 日本ジュニアユース陸上競技選手権大会愛知県大会

中学女子四×一〇〇mリレー

三位 竜海中

松浦侑那・佐野文香

加藤早紀・佐藤来弥

◆ 第21回愛知県中学校カヌー大会新人戦

女子C 800m

二位 福岡中 渡邊柚帆

三位 甲山中 兼原遥花

男女総合準優勝 新香山中

男子総合準優勝 新香山中

女子総合優勝 新香山中

K-4 二位 新香山中

中垣匠人・窪田涼哉

渡辺万葉・石黒竜夢

C-1 一位 新香山中

C-2 二位 新香山中

木下祥一郎・梅村昂生

C-2 三位 新香山中

秋山竜星・山本 健

W K-1 一位 新香山中

新美はるか

W K-1 二位 新香山中

今村涼音

W K-1 三位 新香山中

城戸千夏

W K-4 一位 新香山中

近藤奈生

W K-4 二位 新香山中

今村涼音・新美はるか

W K-4 三位 新香山中

磯部芽生・西村玲奈

(Kはカヤック、WKは女子カヤック、Cはカナディアン

数字は競技者人数)

◆ 第5回愛知県中学校団体卓球選手権大会

男子の部 三位 岩津中A

◆ 第35回愛知県ジュニアオリピック陸上競技大会

女子C 砲丸投

二位 福岡中 渡邊柚帆

三位 甲山中 兼原遥花

女子B 100m  
三位 甲山中 小緑由衣

男子

一位 矢作中学校

二位 甲山中学校

三位 竜海中学校

女子

一位 竜海中学校

二位 甲山中学校

◆第5回ESD大賞 甲山中学校

○小学校賞 男川小学校

◆愛知県健康推進学校

優秀賞 六ツ美西部小学校

◆平成26年度安全なまちづくり愛知県民大会

愛知県知事感謝状

夏山小PTA

◆第58回愛知県統計グラフコンクール

第三部金賞

矢作東小五年

江本 恵

◆平成26年度愛知県防火作品展

入選 連尺小

鈴木未来

○ポスター五年の部

入選 常磐南小

近藤暉里

○習字六年の部

男川小

渡邊美佳

○優良クラブ

形埜小

○優良クラブ指導者

宇土勝馬

緑丘小

宇土勝馬

第47回 岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	第2位	第3位
陸上競技	男子	城北	六ツ美	六ツ美北
	女子	六ツ美北	竜南	甲山
バスケットボール	男子	六ツ美北	矢作北	城北
	女子	岩津	六ツ美北	竜海
バレーボール	男子	竜南	矢作	東海
	女子	竜南	南	福岡
ソフトテニス	男子	矢作	美川	竜海
	女子	矢作北	六ツ美北	城北
卓球	男子	矢作北	南	岩津
	女子	北	甲山	額田
新体操	女子	南	東海	額田

種目	性	優勝	第2位	第3位
剣道	男子	額田	城北	甲山
	女子	額田	矢作北	東海
ハンドボール	男子	葵	六ツ美	竜南
	女子	美川	六ツ美北	美川
軟式野球	男子	城北	美川	六ツ美北
	女子	甲山	矢作北	竜海
ソフトボール	男子	竜海	城北	甲山
	女子	甲山	六ツ美北	北
柔道	男子	甲山	新香山	矢作北
	女子	甲山	六ツ美北	北
サッカー	男子	甲山	幸田A	幸田C
	女子	幸田A	幸田A	額田A
弓道	男子	幸田A	幸田A	幸田南部A
	女子	幸田A	幸田A	幸田南部A
水泳	男子	東海	竜海	矢作北
	女子	矢作	北	葵

個人競技 (1位記録のみ)

水泳

種目	男子				女子			
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録		
50m自由形	名倉 拓美	附属	28"13	内田かりん	矢作	31"83		
100m自由形	月見里祥真	東海	59"86	杉町 瞭香	城北	1'04"43		
200m自由形	稲吉 耀	葵	2'15"74	浅岡 小粋	城北	2'25"33		
50m平泳ぎ	近藤 皇我	甲山	*32"61	江坂 仁美	矢作	38"10		
100m平泳ぎ	安井 颯翼	矢作北	1'14"09	羽根田 琴	六ツ美北	1'23"71		
50mバタフライ	松浦 圭佑	六ツ美北	29"14	小柳 怜香	竜南	32"25		
100mバタフライ	中根長太郎	東海	1'03"74	築山 育未	矢作	1'12"10		
50m背泳ぎ	漆山 真	竜海	31"31	大河原夕稀	甲山	35"97		
100m背泳ぎ	牧 一翔	城北	1'10"50	久田 麻白	北	1'13"27		
200m個人メドレー	永井 豪	矢作北	2'26"73	山村 夏実	葵	2'32"70		
400mR	中根・月見里 杉田・渡辺	東海	4'10"34	杉町・久田 太田・白石	北	4'30"85		
400mメドレーR	渡辺・中根 杉田・月見里	東海	4'41"34	菱田・江坂 築山・渡瀬	矢作	5'02"34		

\*印は大会新記録 タイは大会タイ記録

団体成績	男子			女子		
	優勝	2位	3位	優勝	2位	3位
男子	東海	竜海	矢作北	優勝	2位	3位
女子	優勝	2位	3位	矢作	北	葵

柔道

男子	氏名	学校	女子	氏名	学校
軽量級	尾藤 幸星	北	軽量級	堂崎 月華	南
軽中級	竹市 大祐	東海	軽中級	内田 美愛	甲山
中量級	古藤 凌河	北	中量級	柴田 彩未	甲山
重量級	中崎 勢斗	南			

陸上

\*印は大会新記録

性	種目	氏名	学校	記録
男	100m	岡部 将明	六ツ美北	12"4
	200m	早瀬 賢吾	常磐	25"6
	400m	澤田 賢人	竜南	59"4
	800m	豊田 佑羽	福岡	2'20"5
	1年1500m	岩瀬 大起	美川	4'40"1
	3000m	荒木 幸平	甲山	10'03"2
	110mH	岩堀 剛己	新香山	18"0
	4×100mR	仲平, 牧野, 草田, 岡部	六ツ美北	49"7
	走幅跳	河合 優作	城北	6m01
	走高跳	木田 大晴	竜南	1m50
女	砲丸投	伊藤遼太郎	南	9m62
	棒高跳	土屋 潤人	矢作	2m70
	100m	小緑 由衣	甲山	13"7
	200m	永井絵理香	甲山	13"7
	800m	畔柳 幸奈	竜南	28"4
	1500m	細井 衿菜	矢作	2'34"6
	100mH	小笠原ひかり	北	5'15"2
	4×100mR	山本 遼	竜南	17"1
	走幅跳	永井, 小緑, 田中, 山口	甲山	55"3
	走高跳	杉山 ぞら	南	4m92
砲丸投	柴田 珠子	新香山	1m40	
砲丸投	大久保春香	矢作	10m52	

第53回 岡崎市小学校陸上競技大会

〈総合成績〉 男子 優勝 六名小学校 2位 井田小学校 3位 矢作南小学校  
女子 優勝 梅園小学校 2位 矢作南小学校 3位 六ツ美南部小学校

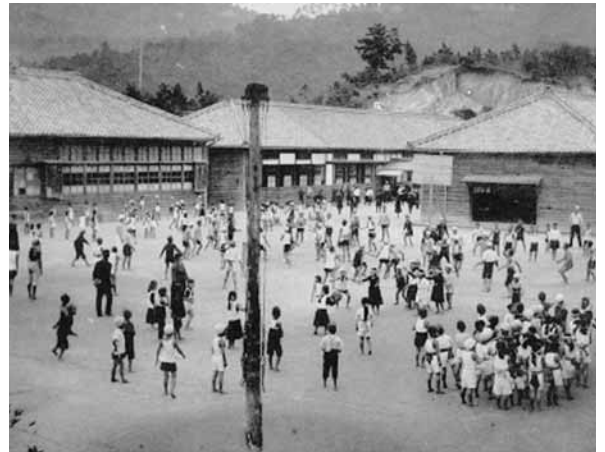
種目	男子			女子			種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録		氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
100m	筒井 健人	福岡	12"7	谷口 琴音	梅園	13"5	400mR	アトコ, 天野 荒木, 山下	六名	54"7	草野, 岡田 齋藤, 夏目	矢作南	56"0
5年100m	山下 侑牙	六名	13"7	藤原古都羽	梅園	14"3	走高跳	河合 海輝	広幡	1m35	伊藤 菜那	城南	1m30
80mH	植野 魁	矢作東	12"9	夏目 陽向	矢作南	13"7	走幅跳	浅井 夏輝	生平	4m69	山田 晏子	六ツ美南部	4m18
1000m	神谷 共輝	矢作南	3'09"0	山田るうか	井田	3'14"6	ソフトボール投げ	江口 開偉	岩津	67m49	原田 永遠	連尺	49m77



・カ  
ツ  
ト  
六ッ美北部小 縦山綾乃

# ドッジボール大会 (昭和元年)

写真提供：形埜小学校



形埜小学校は、明治六年九月に桜形村広祥院法堂を仮校舎とし、「桜形学校」として開校した。その後、数度の移転を経て、明治四十三年、山を切り拓いて現在の場所に校舎が建てられた。

写真は昭和元年のドッジボール大会の様子である。ドッジボールは、明治四十二年にデッドボールとして初めて日本に紹介された。当時は、まだボールを使った遊戯が少なく、最も子供たちに親しまれたそうである。

現在の形埜小学校は、全校児童五十五名の学校であるが、この写真の撮られたころには、百四十人を超す児童が在籍し、運動場でドッジボールを楽しんだ。

九十年経った現代の子供たちにとっても、ドッジボールは人気のある遊びの一つである。校舎や運動場は変わっても、笑顔いっぱい元気な走り回る子供たちの姿は、今も昔も変わらない。

「支援活動チーム」と「まち育て推進グループ」の二つに大きく分かれて「リた」は活動をしている。四か所の地域交流センターをつなげ、サポートする機能を持っているのが、「りぶら」の中にある市民活動センターである。「交流センター」というものが必要とされない地域になるのが理想ですよね」という言葉が心にしみた。

## シ オ ス ア

澄んだ空気、曇りのない空には満天の星。冬は星空を見るには絶好の季節。身に染みる寒さに体を丸め、夜一人で星を眺めながら願う。来年はもっとよい年でありますように。



思い切った決断を迫られるときがある。時代を読み、状況を判断し、最後は自分の直感を信じて突き進む。変化することには不安と戸惑いもあるが、それに勝る喜びや、新しい出会いも待っている。好奇心旺盛な子供たち。一歩踏み出す勇氣を持つてほしい。失敗を恐れずにチャレンジしていく姿を認め、伸ばせる大人でありたい。

朝の光を受け、元気になわとびをする子供たちを見ると、学校にも冬がやってきたと感じる。耐寒駆け足も始まった。寒さに負けず、目標に向かってひたむきに努力を重ねる子供たちの姿は、なんとも清々しい。私たち教師は、その頑張りに声を掛け、ともに走り、その成長に寄り添いながら、今年一年を締めくくりたい。



\* 里山資本主義  
藻谷浩介 NHK広島取材班  
角川書店 ￥781

### 心に残った一文

里山資本主義こそ、日本を100%確実に襲う、いや既に何十年もかけて進行している問題、場合によってはほとんど日本社会の息の根を止めかねない本当の危機に対する、最大で最後の対抗手段かもしれない。

「田舎暮らし」に憧れる理由を、「現実逃避ではない」と断言できる一冊に出会えた。経済再生、福祉・少子高齢化問題の解消も夢ではない。生活や価値観を見直し、自らの生活と日本の未来を見つめられる。本書は実践的な手引きとして、環境教育や学校行事、そして何よりも自分の生き方に活かしていくことができる。

- \* 「自分」の壁 養老 猛司 ￥740  
新潮新書
  - \* 「磯野家」の幸福 おかのきんや ￥1,000  
晋遊舎
  - \* 美術、応答せよ! 森村 泰昌 ￥1,800  
筑摩書房
- 秦梨小 杉原恵美子